

7つの大きな特色

新しい保育園はさまざまな施設を備え、子供たちが伸び伸びと過ごせるように工夫されています。大きく分けると次の通り7つの特色があります。

- 1 保育室等の面積を十分確保して広さにゆとりを持たせたほか、室内には木材を多く使用し、木のぬくもりや暖かさを演出しています。
- 2 子供たちの感性を高めるため、多目的スペースの一角には「絵本コーナー」を設けています。
- 3 子供たちの健康を守り、快適な園生活を行ってもらうため園舎全体にわたりシックハウス対策と断熱施工を施しています。
- 4 地域の子育てを支援したり、保護者からの相談にのるために乳児室や保育室(2歳児)、一時保育室、子育て支援ルームなどを設置しています。
- 5 園舎南側には5mのテラスを設置し、開放感を演出しています。
- 6 屋外には遊具の設置や花木の植栽のほか、水深10m余りのせせらぎや御岳山に見立てた築山なども造られ、子供たちが楽しく伸び伸びと遊べるように工夫されています。
- 7 屋外広場の隅に井戸ポンプを設置し、子供たちが井戸水を汲み上げて花や木々に水をやって



多目的スペース



プレイルーム



井戸ポンプ

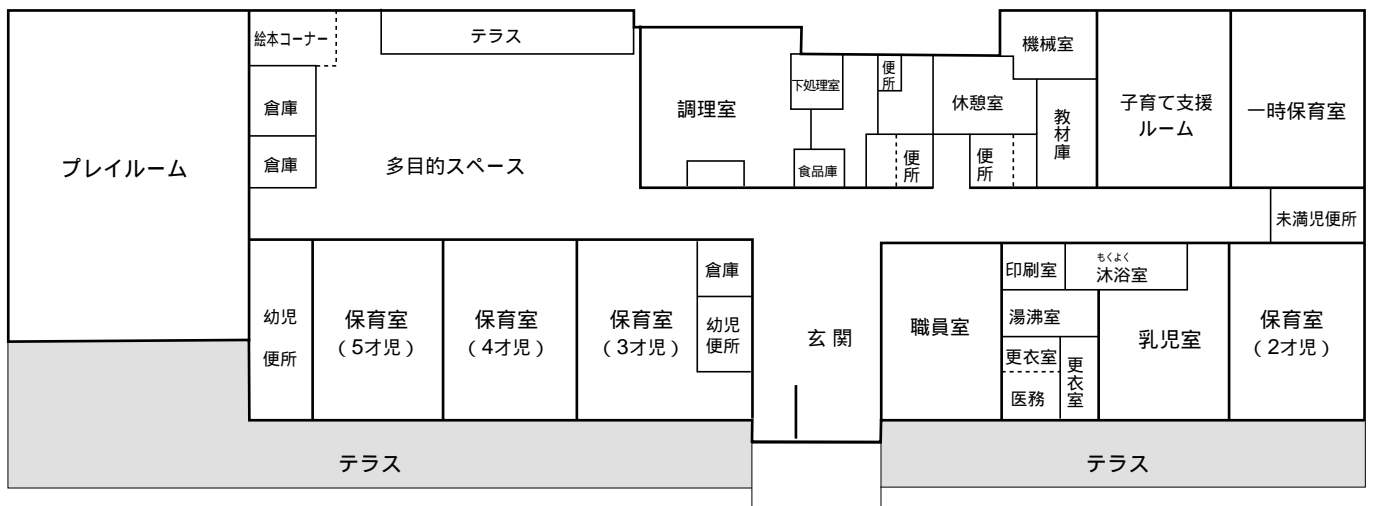
り、水を使ってさまざまな遊びができるように工夫されています。

☑ 園児たちは今年4月から末川にある旧東保育園を開田保育園として使用してきましたが、建物の完成に伴い先月末に引っ越し。6月1日から新園舎で新たな生活がスタートしました。

☑ 現在、屋外の大型遊具や築山周辺は芝生の養生のために、しばらくの間立ち入りが禁止されていますが、8月下旬にはこれも解禁になる予定。子供たちの元気あふれる歓声が屋外いっばいに響き渡る日ももう遠くありません。

新保育園で新たなスタート

開田保育園平面図



園庭

デイサービスセンター側